

うちゅうのはてについて

ひろ中

琴音

あたしは、うちゅうは、本当はないと思います。でも、うちゅうがなかったら、にんげんは、生き残らないので、少し考えてみました。でも、どうしても分からなかったので、こんひは本で調べてみました。

さいしょの本は、うちゅうのなぜという本で調べてみました。一番、私が気になったの

は、

うちゅう人は、本言にいますの？

という、しつもんページが気になりました。

調べてみるよ、

にんげんは、ちきゅうというおくせいで生

まれたり、ぼんごさやくだり

とかいてありました。どういういみかなと思っただので、それも本で調べてみました。

それは、にんげんのすんでいるちきゅうは、とくべつなわくせいとかいてありました。

なむかしいごと、ちきゅうがなかつたら、  
ちうんも生れなうてうてす。

フギに、ながれ星についで言へてみました。

私は、ながれ星を一度も見たことがありま

せん。でも、

「急ついでない間に、見たことがあるかもし

れないよ」

と思います。でも一回でも見たのです。

友だちはみんな、

「ながれ星はねがいがかうんだよ」

と言います。でもねえ、

「せうたいにかなわないよ」

といつてしまします。

でも本をみてみると、ねがいはかなうそいで

す。三回ねがいを言うそいです。でも、なが

れ星は一秒しか光らないので、おかしな人は

ねがいのことを短い言葉にがえてねがいを言っ

たうてす。たぶん、岡山星ではおかし、

葉世になりたい人は、

「抜け星」

と、三回言つたそうであらう。私は、幸せになり  
たいとき

に「しわしわ」

と言ふと、みたりと思ひ出す

本や信文をふりかえつて

「うち」は大切なんだな

と思ひました。あ、いつか私もうさぎに行

つてみたらいか

でもうちやうは、あるかもしれないので少しふご

んじなと本をよんで思ひました。